

昨年度、長年に渡り活動が続けてきた2つのボランティア団体が解散をしました。総合福祉センターで活動され、小島町コーナーととてもつながりが深い団体です。

今回のえんがわだよりでは、それぞれの団体の活動の足跡と、小島町コーナーとしての関わり、活動を終えた団体への思いをエピソードを交えて、少しだけご紹介します。



関わる人の想いはつながっていく・・・

どちらの団体にも言えることは、活動の先にいる人のことを大切に想いながら、製作活動が続けてきたということだと思います。また、長く続けることができたのは、新しいメンバーをいつも快く迎えてくださる優しさがあったからだと思います。

仲間が集まって活動しているところに一人で後から参加する、というのはとても勇気がいることだと思います。緊張してやってきた新メンバーをいつでも仲間として受け入れ、一緒に活動してきたからこそ、長く活動が続いたのだと思います。小島町コーナーでは「調布へ縁あって転居してきたので、お仲間づくりができる場を探している」そんな相談があれば、こちらの2団体を紹介していました。

ただ、残念なことに、このコロナ禍で活動できない日々が続いた上に、イベントの中止が続き、製品を出品する機会までなくなってしまいました。年々、少しずつメンバーが減ってきた影響もあり、解散するということが良くないことではありませんが、私たちにまだ何かできることはなかったか、と悩む日々もありました。この答えは、まだ出せていませんが、団体としての活動を終えた後も、個人で施設からの依頼や相談に応える形で活動を続ける方や、他の活動に挑戦し始めた方もいらっしゃいました。終わりではない、はじまりの芽を感じられて、とてもうれしいです。

最後になりますが、ボランティアあみものグループ、グループおもちゃ箱のみなさんが、大切に つないでくださった今までの活動に、改めて敬意と感謝の気持ちをお伝えしたいです。

長い間、本当にありがとうございました。

調布には、市民活動団体がたくさんあります。

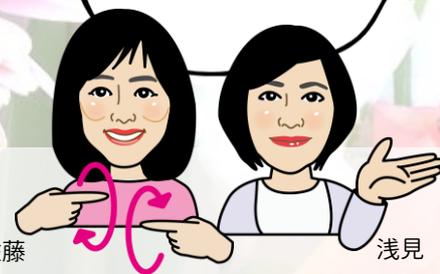
地域で新たな仲間を増やしていくには、興味のある活動をしている団体に参加してみるのもよし、数名で何か始めてみて仲間を募るのもよし、そんな活動に寄り添い、応援するのが、市民活動支援センターです。

「何かを始めてみたい」と思ったら、ぜひご相談ください。



春(チューリップ)、夏(水芭蕉)、秋(紅葉)、冬(椿の花)、四季折々のタペストリー

総合福祉センターでは、点字、手芸、国際協力など様々なボランティアグループが活動されています！



佐藤

浅見

市民活動支援センター 小島町コーナー 佐藤・浅見
小島町2-47-1総合福祉センター 042-481-7695 (月～金)